

2 目標達成計画

作成日: 平成 年 月 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者への動に対して、介護側の思いで安全を考慮するあまりスピーチロックや、付きまといがまだ、見られる。	利用者さんの表情や嫌な振る舞いがなくす。	OJTで取り組む(言葉の大きさ、話し方、表情、環境の確認)	2週間毎
2	26	介護計画とモニタリングを行い、意見とアイデアをいれているが、自立が少ない利用者さんへの生活支援が少ない。	利用者さんの生活を居室依存から外依存に向けた支援を行い、夜の睡眠を多くする。定量的に把握する。	外にでる機会として、買い物、ホーム周りの散策などを3日に一回は行う。どの支援が有効かを積み重ねていく	1ヶ月毎
3	35	自然災害に対する避難、応急手当、非常食摂取訓練の実施。	職員が落ち着いて、行動を考えないで、できるようにする。	住まい、断水、停電、トイレ、暖房、ガス・電話などのライフラインが復活するまでの訓練。	3ヶ月
4	36	擬似家族であるがゆえに、言葉・表情・態度にサーブミスが不足し尊敬の念が足りないときがある。	言葉・表情・態度に違和感の無い姿勢をつける。	研修資料を基に、OJTを利用する。	3ヶ月
5	40	嗜好を尋ねても、好きな物を伝える事が難しい。	写真、イラストからも選べるようにする。	写真、イラストを作成する。	2ヶ月
6	54	居室に戻ると、ベッドで休んでいることが多く、居室での生活のはばが少ない。	居室の環境を整備し、居室でも日常生活が出来るようにする。	本人や家族様と相談し、整備する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。